



高き理想

3年次 進路講演会（共通テスト100日前集会）を開催しました

共通テストの出願を終え、改めて大学受験に向かう気持ちを高めるために、10月8日（水）に3年次生徒を対象に「共通テスト100日前集会」を開催し、駿台教育センター（駿台予備学校仙台校勤務）の桑島隆裕氏より、これからの心構えや取り組むべきことなどについてご講演いただきました。

まず、大学入試は予選のない全国大会であり、目標との差を埋める努力をするのが「受験勉強」であるというお話がありました。さらに、共通テストは「時間」との戦いではあるが、国数英の出題範囲の8割は高校1～2年生の内容なので、基礎・基本を徹底的に固めることが高得点につながることを、読解力・思考力・発想力を伸ばすための演習も基礎・基本があったからこそ伸ばすことができるということもお聞きしました。

また、共通テストが終わるまでは第一志望を譲らないということを強調し、目標を見失わず、「納得受験」をし「納得人生」を歩んでほしいとの励ましをいただきました。



（進路課より）

共通テスト本番まで残り100日を切りました。講演を聞き、改めて気を引き締められたのではないのでしょうか。自分の成績を分析して、やれることを着実に積み上げていきましょう。そして、友達と支え合いながら勉強したり、悩み事は、家族や先生方にも相談したりして、最後まで集中を切らず、受験勉強に取り組みしましょう。

1年次 難関大・準難関大志望者対象進路講演会

3年次生の「共通テスト100日前集会」と同じ日、1年次の難関大・準難関大志望者を対象に駿台教育センター（駿台予備学校仙台校勤務）の桑島隆裕氏より講演していただきました。

難関大志望だからといって自分勝手な学習をするのではなく、あくまでも学校の授業や教科書を大切にすることが合格につながるのだというお話がありました。



また、基礎を大切にすること、苦手科目を克服し教科のバランスをとることの大切さについても強調されました。

（進路課より）

お話の中に、高校3年生を対象に高1、高2のうちに何をやっておけばよかったのか聞いたところ、86.6%の生徒が「勉強」と答えたという調査結果の紹介がありました。難関大・準難関大に合格するための学力は一朝一夕にはつきません。学習方法をアップデートし、志を忘れることなく地道な努力を続けていきましょう。

内容についての質問やご意見は
進路指導課 小野 までお知らせください。